



13. 利益よりも大切な【CSR】とは!?

—長く将来にわたって着実に成長していく企業経営の在り方

変わってきた企業経営の在り方

利益の追求ばかりでなく、その活動が社会へ与える影響に責任を持つとする企業が増えています。

利益の追求だけじゃなくて社会的な責任も果たすべし



▼今までは利益追求型の経営

今まで企業の第一の目的は【利益の追求】だと言われてきました。企業は世の中の役に立つような製品・サービスを生み出し、その対価としてお金を受け取る。それを新たな事業展開のために使ったり、従業員の給料として支払ったり、株主に配当という形で分配をしたりする。

【利益を追求する】というのは、このような事業活動を止めずに、続けていくために必要なことではあります。

▼利益追求型の経営は長期的な成長を妨げる!?

だが実際には、目先の利益を追い求めることが、結果的に、企業の長期的な成長を妨げてしまうケースも多くみられます。

目先の利益だけに目を奪われていると、環境対策がおろそかになったり、従業員が安全に気持ちよく働けるような努力を怠ってしまいます。そういう企業は長期的に見ると、やがて消費者や従業員たちの信頼を失い、事業の活気もなくなります。

▼近年重視されている CSR

一方、株主側も、株価ばかりに目を向けがちで「企業の経営にしっかり目を向けよう」という人が少なくなりました。

そこで、近年重視されているのが「CSR（企業の社会的責任）」です。

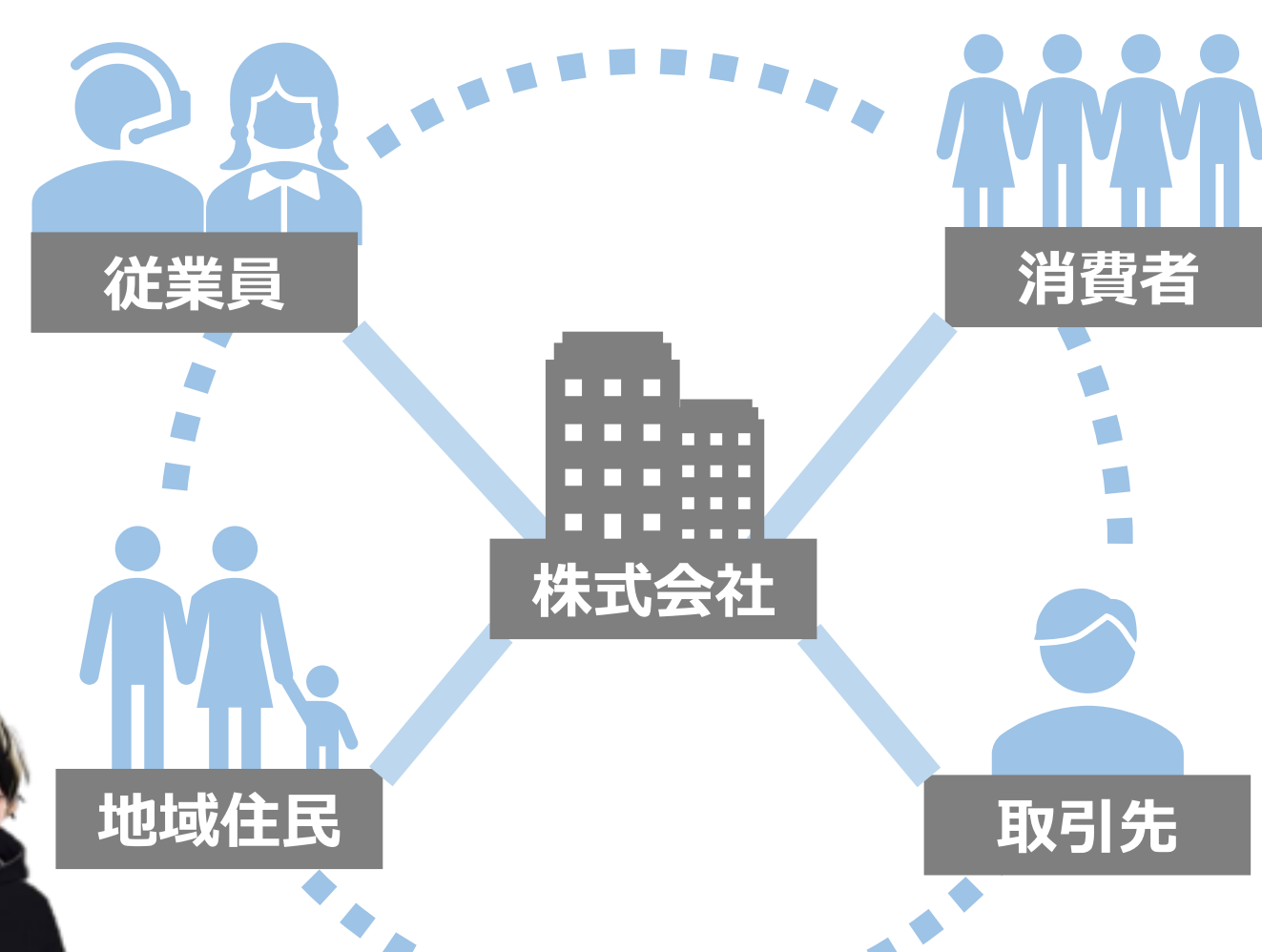
CSR（企業の社会的責任）と株式投資

CSR – Corporate Social Responsibility –

CSR（企業の社会的責任）とは、企業は利益を追求するだけではなく、「人権問題や環境問題への対応をはじめ、さまざまな社会的な責任を果たすべき」とする考え方やその取り組みを指します。

▼企業と深く関わり合うステークホルダーの存在

CSRは、ステークホルダーとよりよい関係を築き、事業活動を継続・発展していくために重要です。企業は、そこで働く人々と株主だけでなく、モノを買ってくれる消費者や取引先、その企業の周辺に住んでいる地域住民など、世の中の様々な人々と深く関わり合いながら活動しています。こういった人々を「利害関係者＝ステークホルダー」といいます。



▲ ステークホルダー

▼長期的な視野に立った経営に繋がるCSR

CSRは、こうしたステークホルダーと企業との信頼関係を築くためのものだといえます。最近では、社会の一員として、社会貢献活動や環境問題に取り組むなど、長期的な視野に立った経営に取り組んでいる企業も増えてきています。目先の利益を優先するのではなく、企業を取り巻く人々と良い関係を築いていくことで、長く将来にわたって着実に成長していくことができると考えられます。

このように、企業の経営のあり方にも変化が起こってきています。

▼投資家目線でもCSRが重要な判断基準に

そして投資家の間でも、CSRに熱心に取り組んでいるかどうかを、重要な判断基準と考えて投資する人々も増えていきます。

SRI（Socially Responsible Investment=社会的責任投資）という投資方法も普及しつつあります。

魔弾の結論

POINT 01 近年では、企業も長期的な視野に立った経営に取り組んでいる

例) 社会の一員として社会貢献活動や環境問題への取り組みなど

POINT 02 そうすることで

長く将来にわたって着実に成長していくことができると考えられている



魔弾でも!

